

埼玉県のマスコット コバトン

# 埼玉県 獣医師会 会報

# 第 691 号

令和 3 年 5 月 20 日 編集

発行所  
公益社団法人 埼玉県獣医師会  
〒330-0835 さいたま市大宮区北袋町1-340  
(埼玉県農業共済会館内)  
電話 048(645)1906  
FAX 048(648)1865  
E-mail: s-vma@vesta.ocn.ne.jp  
URL: http://www.saitama-vma.org/  
振替口座 00110-9-195954番

発行責任者 高橋 三 男

編集責任者 大橋 邦 啓

印刷所 (株)アサヒコミュニケーションズ

## 記事の内容

### 定時総会再通知

公益社団法人埼玉県獣医師会第73回定時総会  
並びに埼玉県獣医師連盟総会開催…………… 1  
(新型コロナウイルス感染拡大防止のため、  
規模を縮小して開催しますのでご協力をお  
願います。前号(第690号)に同封した  
委任状を未提出の方は至急投函をお願いし  
ます。)

### 学術

令和3年度関東・東京合同地区獣医師大会(栃  
木)、獣医学術関東・東京合同地区学会開  
催案内、参加申込(再掲載)…………… 2

### 会務報告

監査会…………… 4  
第1回獣医事調査委員会…………… 4  
第1回総務委員会…………… 4

### 予告

Webセミナーのお知らせ…………… 5

## 新入会員報告

新入会員紹介…………… 7

## お知らせ

埼玉県農林部畜産安全課長からのお知らせ… 9  
新型コロナウイルス関連のお知らせ…………… 10  
日本獣医師会からのお知らせ…………… 14  
最近の豚熱の発生状況…………… 17

埼玉県獣医師会学術広報版…………… 18

## 事務局より

事務局メモ…………… 19

編集後記…………… 20

# 公益社団法人 埼玉県獣医師会 会員憲章

わたくしたち埼玉県獣医師会会員は、それぞれの職域において、その責務を遂行し、県民の福祉増進に寄与するため、ここに会員憲章を定めま

す。

わたくしたち埼玉県獣医師会会員は

1. 動物の生命を守り、ひとびとの生活を豊かにしよう
1. 獣医学術を研鑽向上し、確信を持って業務に邁進しよう
1. 動物愛護思想を向上し、心豊かな生活をしよう
1. 環境衛生を向上し、福祉増進の実をあげよう
1. 職域を尊重し、倫理の昂揚をはかろう

## 公益社団法人埼玉県獣医師会第73回定時総会 並びに 埼玉県獣医師連盟総会開催

定款第14条に基づき定時総会を次のとおり開催いたします。しかしながら新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、昨年に引き続き、役員等最小限の人数により、感染防止対策を講じたうえでの開催を検討しています。会員の皆様には所属支部の支部長などの本会役員（会長、副会長、理事、監事）に議決権行使の権限を委任していただきますようお願いいたします。

前号会報（第690号）に同封のハガキ（委任状）を未だ提出されていない先生におかれましては、速やかにご返送くださるよう、お願い申し上げます。

### 公益社団法人埼玉県獣医師会第73回定時総会開催

- |                       |                        |       |                                      |
|-----------------------|------------------------|-------|--------------------------------------|
| 1. 日時                 | 令和3年6月3日（木）<br>午後3時00分 | 第3号議案 | 令和3年度会費（負担金）および入会金（案）に関する件           |
| 2. 場所                 | さいたま市大宮区「清水園」          | 第4号議案 | 令和3年度一時借入金の高限度額および借入・預入先金融機関の決定に関する件 |
| 3. 議事                 |                        | 第5号議案 | 令和3年度役員報酬に関する件                       |
| 報告事項                  |                        | 第6号議案 | 役員を選任に関する件                           |
| 令和3年度事業計画および収支予算に関する件 |                        | 付帯決議  |                                      |
| 決議事項                  |                        |       |                                      |
| 第1号議案                 | 令和2年度事業報告の承認に関する件      |       |                                      |
| 第2号議案                 | 令和2年度決算の承認に関する件        |       |                                      |

註：総会終了後の懇親会につきましても、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、昨年同様、開催中止とさせていただきます。

### 埼玉県獣医師連盟総会開催

前記の埼玉県獣医師会第73回定時総会開催に先立ち、令和3年6月3日（木）午後1時50分から、埼玉県獣医師会総会会場（さいたま市大宮区「清水園」）において開催します。

こちらも新型コロナウイルス感染拡大防止のため、役員等最小限の人数での開催とさせていただきます。

- |       |                        |       |                         |
|-------|------------------------|-------|-------------------------|
| 1. 日時 | 令和3年6月3日（木）<br>午後1時50分 | 3. 議事 |                         |
| 2. 場所 | さいたま市大宮区「清水園」          | 第1号議案 | 令和2年事業報告および収支決算の承認に関する件 |
|       |                        | 第2号議案 | 令和3年事業計画および会費徴収（案）に関する件 |
|       |                        | 第3号議案 | 役員改選に関する件               |

## 令和3年度 関東・東京合同地区獣医師大会・三学会開催案内

主催 栃木県獣医師会

区 分	関東・東京合同地区 獣 医 師 大 会	日 本 産 業 動 物 獣 医 学 会	日 本 小 動 物 獣 医 学 会	日 本 獣 医 公 衆 衛 生 学 会	
日 時	令和3年9月12日 13:00~14:00	令和3年9月12日 午前の部 10:00~12:00 午後の部 14:15~16:15			
大会会長 分野別地区 地区学会長	関東地区獣医師会連合会 会長 大住 敬	東京農工大学 白井 淳 資	日本獣医生命科学大学 原 康	日本大学 丸山 総一	
会 場	栃木県総合文化センター 宇都宮市本町1-8 TEL:028-643-101				
	サブホール	3階 音楽練習室	3階 特別会議室 3階 第1会議室	3階 第2会議室	
次 第	<p>[大会]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>開会の辞</li> <li>黙祷</li> <li>獣医師大会会長挨拶</li> <li>獣医事功績者表彰</li> <li>受賞者代表謝辞</li> <li>来賓祝辞</li> <li>議長選出</li> <li>議 事</li> <li>(1)令和元年度経過報告</li> <li>(2)議 案</li> <li>大会宣言</li> <li>次期開催担当県会長挨拶</li> <li>閉会の辞</li> </ol>	<p>[三学会]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>開会の辞</li> <li>分野別地区学会長 挨拶</li> <li>学会・発表</li> <li>審査委員会</li> <li>閉会の辞</li> <li>優秀論文発表は後日、 各獣医師会あて通知 し、表彰状を発送。</li> </ol>	<p>[演題申込み要領]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>提出先：公益社団法人栃木県獣 医師会</li> <li>演題・抄録提出期限 令和3年6月18日(金)</li> <li>提出方法：所属地方獣医師会を 經由</li> <li>演題：口演8分/討論2分</li> <li>原稿執筆要領：別紙</li> <li>審査員：幹事・学識経験者の中 から地区学会長に選任 された者</li> <li>参加費：5,000円(昼食・抄録代・ オンライン配信のID,PW)</li> </ol> <p>※埼玉県獣医師会会員の参加費（オンライン配信を除く）につ いては、本会にて負担します。（参加無料）</p> <p>※感染防止対策のため、各学会の発表はWebにより同時配信し ます。</p> <p>※学会発表順序、演題は演者の都合により変わることがありま す。</p> <p>※三学会は学術講演とともに、獣医師生涯研修事業のポイント 取得対象プログラムとして、参加者にポイントが付与されます。</p>		
	[表彰式] 開催中止				

## 【タイムスケジュール】

9:00~	10:00~ 12:00	12:00~ 13:00	13:00~ 14:00	14:15~ 16:15
受 付	三学会	昼 食	大 会	三学会
	動物用医薬品・機器等展示 2階 第4ギャラリー 10:00~16:00			

## 《参加申込の方法》

本大会・学会への参加は、事前登録することとなっております。参加を希望される方は、8月4日（水）までに、下記事項（お知らせいただく内容）を埼玉県獣医師会事務局までお知らせください。当日登録も可能ですが、極力、事前登録をお願いします。

なお、会場参加の場合は「参加費（5,000円）」は本会が負担しますが、オンライン参加の場合の「オンライン参加費（5,000円）」は自己負担でお願いします。

### 《お知らせいただく内容》

- ・氏名
- ・所属支部
- ・参加方法（会場参加・オンライン参加）
- ※：今年度は交流会は開催されません。
- ※：申し込み後、ご都合が悪くなった場合は早めにご連絡をお願いします。

### 《連絡先》

埼玉県獣医師会 事務局

住所：〒330-0835 さいたま市大宮区北袋町  
1-340（埼玉県農業共済会館内）

TEL：048-645-1906

FAX：048-648-1865

Eメール：s-vma@vesta.ocn.ne.jp

## 令和3年度獣医学術関東・東京合同地区学会の発表演題の募集

令和3年度における当該地区学会の発表演題を募集いたします。

### 1 発表演題の申込方法

(1) 発表演題の申込は、次の内容を、郵送・FAX又は電子メールで埼玉県獣医師会に提出して下さい。

- ①発表学会名：（産業動物・小動物・獣医公衆衛生）
- ②発表者の氏名（フリガナ）
- ③所属先の名称
- ④演題名

(2) 発表要旨は、会報4月号（第690号）8頁、「**2 発表について**」及び「**3 発表要旨の記述方法**」に従い作成し、発表演題の申込と同様に埼玉県獣医師会に電子メール添付等にてファイルを提出して下さい。

[発表演題と講演要旨の提出先]

〒330-0835 さいたま市大宮区北袋町1-340  
公益社団法人埼玉県獣医師会 事務局  
TEL：048-645-1906 FAX：048-648-1865  
E-mail：s-vma@vesta.ocn.ne.jp

(3) 発表演題申込書と発表要旨の提出締切

発表演題の申込と発表要旨の埼玉県獣医師会への提出締切は下記のとおりといたします。

**【締切】 令和3年6月16日（水） 期限厳守**

なお、埼玉県獣医師会では、提出いただいた発表演題申込と発表要旨を取りまとめの上、令和3年度関東・東京合同地区学会事務局の栃木県獣医師会（下記）への提出締切の6月18日までに送付いたします。

※演題募集の詳細は会報4月号（第690号）をご覧ください。

## 監査会

令和3年4月28日（水）午後1時30分から午後3時まで、さいたま市「埼玉県農業共済会館」会議室において、新型コロナウイルス感染拡大防止のため最小限の人数で監査会を開催し、高橋三男会長立会いのもと、令和2年度の会計、財産及び会務の執行状況に関する監査が、八木賢裕監事、山中利之監事、田中裕監事により実施された。

### 第1回獣医事調査委員会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和3年5月11日付けで各委員あての書面により次の事項を協議した。

#### 協議事項

新入会員の審査について

入会申込書が提出されている開業支部2名、団体支部16名の入会について審査し、全て適正と認め、理事会に付議することとなった。

### 第1回総務委員会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和3年5月12日付けで各委員あての書面により次の事項を協議した。

#### 1 協議事項

(1) 令和2年度事業報告並びに収支決算について

令和2年度の会務運営や各種事業の実績並びに収支決算について承認された。

(2) 第73回定時総会の運営について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、必要最小限の人数で感染拡大防止対策を講じたうえで開催し、来賓の招待、祝寿表彰、新入会員歓迎セレモニー、懇親会は行わないこと。それに伴い例年実施している総務委員を中心とした会員の応援による総会運営体制は実施しないことが承認された。

予 告

## Webセミナーのお知らせ

学術委員会 委員長 高橋 一成  
 情報検討委員会 委員長 宗像 俊太郎

名古屋市獣医師会主催の動物看護師オンラインセミナーが6月27日（日）14:00～16:30に開催されます。当会も後援し、受講料は無料となりますので、下記チラシを参照していただき、各自で申込をしていただきますようお願いいたします。



公益社団法人 名古屋市獣医師会  
 NAGOYA Veterinary Medical Association



オンライン  
 受講  
 無料

シリーズ  
 第1弾

動物看護師オンラインセミナー

## 『今、自分にできること』

～基礎を見直し現場で活かす～

日時：2021年 **6月27日（日）** 14:00～16:30

対象：動物看護師・獣医師・動物病院スタッフ

※当日の10:00までお申込み可能（事前登録方法は裏面へ）

第1部

～麻酔モニタリングの基礎～  
 『見る』から『看る』へ！

講師：佐野忠士 先生  
酪農学園大学 獣医学群 獣医学類  
 伴侶動物医療学分野 獣医麻酔学ユニット

講師：中村 篤志 先生  
TRVA 夜間救急動物医療センター

「猫のトリアージ  
 極めてみませんか？」

第2部

来年、令和4年5月1日にいよいよ愛玩動物看護師法が全施行されます。現在、国家資格化に向けて不安を抱いている現職の動物看護師の方々も多いかと思えます。しかし国家試験の有無に関わらず、日々の動物病院の業務は変わりません。皆様の動物運への思いも変わらないかと思えます。そこで、『基礎を見直し現場に活かす』、国家試験にも繋がる基礎を学びながら、皆様のスキルアップやモチベーションアップに役立てて頂けたらと思い、全三回シリーズとして動物看護師セミナーを企画しました。今回はその第一弾となります。このセミナーシリーズが明日からの業務に活かされ、これからの皆様の将来や仕事への取組方のヒントに少しでもなれたら幸いです。

後援：（公社）大阪府獣医師会 （公社）埼玉県獣医師会 （公社）京都市獣医師会  
 日本ヒルズ・コルゲート株式会社

## ライブセミナー事前登録方法

### アクセス方法

#### Step 1

※下記いずれかの方法でヒルズ獣医療関係者向けサイト (Hill's Vet's Site) へアクセス

A. QRコードを読み取る



B. 検索バーで「ヒルズ 獣医」と入力

C. URLに<http://vet.hills.co.jp/> と入力

#### Step 2

Hill's SEMINAR  
ヒルズセミナー  
申し込みサイト

トップ画面に表示される  
セミナー申し込みサイトのバナーをクリック



### セミナー申し込みサイトでの事前登録方法

#### Step 3

※病院様から複数名ご参加される場合にも、個別にお申し込みいただきますようお願い致します。

1. Step1, 2 を経て、セミナー申し込みサイトにアクセス
2. 該当のセミナーを選択し、セミナー詳細ページへ
3. 事前登録はこちら、をクリック
4. 申し込みフォームに必要事項(お名前、病院様名、メールアドレスなど)を入力
5. 申し込み完了後に登録いただいたメールアドレスにオンライン視聴できる専用ページのURLが送られます



### 当日のアクセス方法 (講演開始10分前からアクセスできます)

セミナー開催前日の12時に届くメールに記載されているURLから  
オンライン視聴できる専用ページにアクセスしてください

※オンライン視聴できるURLはセミナー開始1時間前に送られるリマインドメールにも記載されております。



#### 【推奨環境について】

OS: iOS 11以上 / Windows 10 / 8.1 以上 /  
Mac OS 10.15 / 10.14 以上  
ブラウザ: Internet Explorer 11 以上 / Microsoft Edge /  
Chrome / Firefox / Safari 最新バージョン  
WiFi: 無線 / 有線どちらでも可  
速度: 3.0Mbps以上

※WiFi環境によって動画が途切れる可能性があります。



日本ヒルズ・コルゲート株式会社  
〒102-0084 東京都千代田区二番町5-25

獣医療関係者向け  
公式Twitterアカウント



## 新入会員報告

## 新 入 会 員



おおもり かよう  
大森 香葉  
農林支部



たなか まさこ  
田中 雅子  
農林支部



ねぎし みのり  
根岸 穂  
農林支部



やじま ゆうすけ  
矢島 裕介  
農林支部



いとう あきふみ  
伊藤 暁史  
団体支部



おおぢ しょうこ  
大地 様子  
団体支部



さとう まさひこ  
佐藤 雅彦  
団体支部



すぎうら かなえ  
杉浦 奏絵  
団体支部



たかの ひろし  
高野 裕史  
団体支部



たきざわ りょう  
滝澤 遼  
団体支部



なべしま けんたろう  
鍋嶋 健太郎  
団体支部



ひらもと あきら  
平本 彰  
団体支部



ふくざわ まゆこ  
福澤 真由子  
団体支部



まつもと たかし  
松本 考史  
団体支部



まなべ ひとみ  
真鍋 日登美  
団体支部



ままだ かずや  
俣田 和也  
団体支部



やはぎ まさと  
矢作 雅人  
団体支部



よしい ゆみ  
吉井 友見  
団体支部

## 勤務部会

支 部 名	氏 名	勤 務 先
農林	大 森 香 葉	埼玉県農林部畜産安全課
〃	田 中 雅 子	埼玉県熊谷家畜保健衛生所
〃	根 岸 穂	埼玉県農林部畜産安全課
〃	矢 島 裕 介	埼玉県秩父高原牧場
団体	伊 藤 暁 史	川口市・どうぶつの総合病院 専門医療&救急センター
〃	大 地 祥 子	川口市・どうぶつの総合病院 専門医療&救急センター
〃	佐 藤 雅 彦	川口市・どうぶつの総合病院 専門医療&救急センター
〃	杉 浦 奏 絵	川口市・どうぶつの総合病院 専門医療&救急センター
〃	高 野 裕 史	川口市・どうぶつの総合病院 専門医療&救急センター
〃	滝 澤 遼	川口市・どうぶつの総合病院 専門医療&救急センター
〃	鍋 嶋 健太郎	川口市・どうぶつの総合病院 専門医療&救急センター
〃	平 本 彰	川口市・どうぶつの総合病院 専門医療&救急センター
〃	福 澤 真由子	川口市・どうぶつの総合病院 専門医療&救急センター
〃	松 本 考 史	川口市・どうぶつの総合病院 専門医療&救急センター
〃	眞 鍋 日登美	川口市・どうぶつの総合病院 専門医療&救急センター
〃	俣 田 和 也	川口市・どうぶつの総合病院 専門医療&救急センター
〃	矢 作 雅 人	川口市・どうぶつの総合病院 専門医療&救急センター
〃	吉 井 友 見	川口市・どうぶつの総合病院 専門医療&救急センター

## 広告



こわい狂犬病から  
ほくを守ってね

毎年1回の狂犬病予防注射を忘れずに！



研究開発元 一般財団法人 松岡科学研究所

製造販売元 松研薬品工業株式会社

〒184-0003 東京都小金井市緑町5丁目19番21号  
TEL: (042) 381-0075 FAX: (042) 381-0344  
URL: <http://www.matsuken-yakuhin.com>  
E-mail: [daihyo@matsuken-yakuhin.com](mailto:daihyo@matsuken-yakuhin.com)

## ■ 松研狂犬病 TC ワクチン

劇 要指示 指定

### 松研の動物用生物学的製剤

#### 豚用ワクチン

- 豚コレラ生ウイルス乾燥予防液
- 松研豚丹毒生ワクチン
- ポーシリス APP-N
- ポーシリス ERY
- ポーシリス STREPSUIS
- ポーシリス Begonia DF・10
- ポーシリス Begonia DF・50

#### 水産用ワクチン

- Mバック レンサ 注
- Mバックイニエ
- 松研Mバック IPレンサ

#### 家畜用抗毒素

- 破傷風血清

**お知らせ**

畜安第113-3号  
令和3年4月27日

公益社団法人 埼玉県獣医師会  
会長 高橋三男 様

埼玉県農林部畜産安全課長  
野澤 裕子（公印省略）

## ゴールデンウィークにおける豚熱、アフリカ豚熱、口蹄疫及び高病原性鳥インフルエンザ等の防疫対策の徹底（通知）

日頃から家畜衛生行政の推進につきまして、御協力いただき感謝申し上げます。

豚熱、アフリカ豚熱及び口蹄疫等については、特に総合的に発生の予防及びまん延防止のための措置を講ずる必要があるものとして、畜産関係者に飼養衛生管理の確認、指示並びに万が一の発生時のまん延防止対策の徹底等をお願いしてきたところです。

一昨年発生が確認された新型コロナウイルス（COVID-19）の人への感染が世界的に拡大し、日本を含め各国で海外渡航の自粛等を実施したことにより、人・モノの移動が減少している状況ではありますが、引き続き、家畜伝染病の病原体の侵入防止のため、飼養衛生管理基準の徹底等により、発生予防対策に万全を期すことが不可欠です。

ついては、別添令和3年4月23日付け3消安第703号（農林水産省消費・安全局長通知）を踏まえ、家畜を飼養する貴会会員に、飼養衛生管理基準の遵守と、下記についての周知をお願いいたします。

### 記

#### 1 畜産関係者等の海外渡航の自粛等の指導の徹底

家畜関係者等は、アフリカ豚熱や口蹄疫等の発生地域への渡航を自粛すること。

#### 2 消毒及び衛生管理区域への病原体の持込みの防止の再徹底等

- (1) 衛生管理区域や畜舎に必要な人を立ち入らせず、また、不要な物を持ち込ませないこと。
- (2) 衛生管理区域に人（農場従業員を含む）が立ち入る場合や物が持ち込まれる場合、専用の手袋・靴の着用、手指の消毒、物品の消毒等を実施すること。
- (3) 野生動物の侵入防止対策として、適切な防護柵、防鳥ネット等を設置するとともに定期的な点検及び必要に応じた修繕を実施すること。

#### 3 早期発見・早期通報の徹底について

家畜の管理等を行う方は、家畜伝染病を疑う家畜を発見したときは管轄の家畜保健衛生所に通報すること。

また、早期発見・早期通報できるよう、飼養家畜の健康観察は念入りに行うこと。

※別添省略

農政第76号  
令和3年4月26日

公益社団法人 埼玉県獣医師会  
会長 高橋三男 様

埼玉県農林部長 強瀬 道男（公印省略）

## 埼玉県におけるまん延防止等重点措置等に基づく協力要請について（依頼）

本県農林行政の推進につきましては、日頃格別の御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本県における新型コロナウイルスの感染状況については、4月23日に207人の新規陽性者を確認し、特に、東京都区部と接する県南部において、新規陽性者の増加が続いています。

そこで、第49回埼玉県新型コロナウイルス対策本部会議（令和3年4月24日開催）において、埼玉県における重点措置を講じるべき区域を新たに指定し、まん延防止等重点措置等についての協力を、県民の皆様及び事業者の皆様をお願いすることが決定されました。

つきましては、趣旨を御理解いただき、関係者の皆様への周知に御協力くださるよう、お願い申し上げます。

（参考）

埼玉県HP

【4月24日発表】埼玉県におけるまん延防止等重点措置等に基づく協力要請について

<https://www.pref.saitama.lg.jp/notice/2021020401.html>

農政第91号  
令和3年5月10日

公益社団法人 埼玉県獣医師会  
会長 高橋三男 様

埼玉県農林部長 強瀬 道男（公印省略）

## 埼玉県におけるまん延防止等重点措置等に基づく協力要請について（依頼）

本県農林行政の推進につきましては、日頃格別の御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本県における新型コロナウイルスの感染状況については、緊急事態宣言の発出を要請する段階ではないものの、現時点では十分な効果が確認できていない状況です。

そこで、第51回埼玉県新型コロナウイルス対策本部会議（令和3年5月8日開催）において、政府対策本部の公示に基づき、埼玉県におけるまん延防止措置等重点措置を実施すべき期間を延長し、県民の皆様及び事業者の皆様には協力ををお願いすることが決定されました。

つきましては、趣旨を御理解いただき、関係者の皆様への周知に御協力くださるよう、お願い申し上げます。

（参考）

埼玉県HP

【5月8日発表】埼玉県におけるまん延防止等重点措置等に基づく協力要請について

<https://www.pref.saitama.lg.jp/notice/2021020401.html>

2021/04/30（金）

公益社団法人日本獣医師会 駒田逸哉

## 新型コロナウイルス感染症に対する小動物診療施設等の対応について」の一部改訂について

各地方獣医師会会長 各位

日頃よりご指導を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、標記の件につきまして、小動物臨床委員会等で内容を改めて検討し、下記の事項について追記いたしましたので、関係会員獣医師へ周知いただきますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

なお、別添については添付を省略している旨申し添えます。

### 記

- ① 「4 電話等による診療の指示等」に入院動物の面会、オンライン診療の範囲について追記
- ② 「6 来院時の対応及び留意事項」に新たに①として換気について追記
- ③ 「7 院内の獣医師等に対する留意事項」に新たに③として往診時の対応、④に従業員等の指導について追記

## 新型コロナウイルス感染症に対する小動物診療施設等の対応について

令和2年4月3日制定

令和2年7月31日改訂

令和3年2月5日改訂

令和3年4月30日改訂

新型コロナウイルス感染症が急激に拡大する中で、「緊急事態宣言」が発出された際は不要不急の外出制限等が求められることとなります。

この文書は、このような事態においても、小動物診療施設において獣医師、獣医療スタッフ等（以下「獣医師等」という。）及び飼育動物の飼い主の感染防御を確保しつつ、必要な診療業務を継続するために推奨される対応方策を提示するものです。

なお、産業動物診療については、診療業務が主に家畜又は家禽が飼養される畜鶏舎で行われること、これまで新型コロナウイルスが家畜等に感染したとの報告はないことから、家畜飼育者等との接触において、密閉空間、密集場所、密接場面という3つの条件が同時に重ならないよう注意しつつ、本文書を参考に必要な診療業務の遂行をお願いします。

### 1 応召の義務

「診療を業務とする獣医師は、診療を求められたときは、正当な理由がなければ、これを拒んではならない。」（獣医師法第19条第1項）との規定にかんがみ、必要と判断されれば原則として飼育動物

の診療を行うこと。

## 2 飼い主への事前連絡・周知

外出禁止の要請等が行われた場合には、罹患動物の診療のために来院する前に電話等で事前相談を行うよう、通院中若しくは過去に通院歴のある動物の飼い主に対して、ホームページ、電話、メール等で連絡・周知すること。

## 3 罹患動物の容体等の聴取

2の飼い主からの電話等においては、罹患動物の容体のほか、飼い主自身の健康状態、海外渡航歴、新型コロナウイルス感染症の感染者との接触の可能性等について聴取すること。

## 4 電話等による診療の指示等

3の飼い主からの電話等による聴取の結果、罹患動物の病状が重篤で緊急的な処置等を要する場合を除き、来院を延期した上で、オンライン診療、電話、メール等での診療の指示、指導等に止めること。

また、入院動物の面会も上記と同様、動物の病状等が逼迫している状況等を除き、原則としてオンラインで行うこと。

なお、オンライン診療については、当該動物に対して直接対面して診察していることを前提に獣医師法第18条に規定された「無診察診療」に該当しない範囲内で実施すること。

## 5 来院させる場合の留意事項

来院させる必要があると判断した場合には、原則として次の留意事項に従わせること。

- ① 飼い主同士の接触を避けるため、予約制とすること。
- ② 同伴は健康な成人1名に限ること。
- ③ 大型犬を除き、移動用ケージ等を用い搬送、来院すること。
- ④ 自家用車等を利用し、公共機関は利用しないこと。
- ⑤ マスク着用等の感染防護措置を行うこと。
- ⑥ 到着後、動物とともに院外で待機し、病院の獣医師等の指示により院内へ入室すること。
- ⑦ 支払いは不必要な接触を避けるため、原則としてキャッシュレス決済等に限定すること。
- ⑧ これらの指示に従わない場合は、診療を見送る場合もある旨の同意を得ること。

## 6 来院時の対応及び留意事項

飼い主の来院時には、病院の獣医師等は次の対応、指示等を行うこと。

- ① 院内の窓やドアの解放、換気扇の活用等により換気を行い、密閉を回避しておくこと。
- ② 予約時間に飼い主が来たことを確認し、待合室への入室を指示すること。
- ③ 入室時に院内に設置した消毒薬で手指を洗浄消毒すること。
- ④ ケージを決められた場所に置き、獣医師等の指示を待つこと。
- ⑤ 院内の備品等に不必要に触れないこと。
- ⑥ 獣医師等とは2メートル以上の距離を保つこと。
- ⑦ 待合室にて問診表（飼い主の健康状態に関する質問を含む。）の記入を依頼し、内容を確認した上で、診療室への入室を許可すること。

- ⑧ 診療終了後、帰宅時に手洗い等十分に感染の防護に努めるよう周知すること。

## 7 院内の獣医師等に対する留意事項

病院の獣医師等は、上記事項のほか、次の事項を遵守すること。

- ① 個人防護具（PPE）の装着を徹底すること（別添6参照）。
- ② 獣医師等間でも2メートル以上の距離を保つこと。
- ③ やむを得ず往診する場合には、往診先の住居構造等を事前に聴取し、屋外等での診療、飼い主との対面時間の短縮等に努めること。
- ④ “One Health” の概念を実践する者としての自覚の下、逐次公表される新型コロナウイルス感染情報や政府の対処方針等に留意し、自身の感染防御は勿論、従業員及び出入り業者等の指導の徹底をもって院内感染等によるクラスターの発生防止に努めること。

## 8 診療対象動物が新型コロナウイルス感染症に罹患していると疑われる場合の対応

犬、猫等が新型コロナウイルス感染症に罹患していると疑われる場合には、（公社）日本獣医師会のホームページに掲載された「愛玩動物と新型コロナウイルス感染症について」（令和2年5月1日、7月31日改訂）を参照の上、予め本会に連絡した後、国立感染症研究所獣医科学部等に問合せを行うこと。

広告

わたしたち森久保薬品は人と動物の「これから」を真剣に考えています。

 <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">胃腸と皮膚が気になる犬に</p> <p>ドクタークレド <b>Dr. CREDO No.1</b> 成犬用 総合栄養食 1kg・3kg</p>	 <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">血流と健康が気になる犬に</p> <p>ドクタークレド <b>Dr. CREDO No.2</b> 中・高齢犬用 総合栄養食 1kg</p>	 <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">下部尿路が気になる成猫に</p> <p>ドクターイデア <b>Dr. IDEA No.1</b> 成猫用 総合栄養食 150g×6パック(900g) 400g×6パック(2.4kg)</p>	 <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">成猫の体重管理に</p> <p>ドクターイデア <b>Dr. IDEA No.2</b> 成猫用 総合栄養食 150g×6パック(900g) 400g×6パック(2.4kg)</p>
--	---	---	--

 **森久保薬品株式会社**

神奈川：046-221-0620 山梨：055-224-5278 群馬：027-230-3322 東京：042-564-2381 埼玉：04-2968-0881  
三郷：048-948-2112 栃木：028-666-3399 茨城：0296-43-1661 千葉：043-309-8080

事務連絡  
令和3年5月11日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会  
副会長兼専務理事 境 政 人

## 男女共同参画の取組強化のお願い

このことについて、令和3年4月23日付け事務連絡をもって、農林水産省消費・安全局畜水産安全管理課課長補佐（獣医事班担当）から、別添のとおり通知がありました。

このたびの通知は、男女共同参画社会基本法（平成11年法律第78号）に基づき、令和2年12月25日に「第5次男女共同参画基本計画～すべての女性が輝く令和の社会へ～」が閣議決定され、政策・方針決定過程への女性の参画拡大について、「指導的地位に占める女性の割合が2020年代の可能な限り早期に30%程度となるよう目指して取組を進める」こととし、「2030年代には、誰もが性別を意識することなく活躍でき、指導的地位にある人々の性別に偏りがないような社会となることを目指す」こととされた趣旨を踏まえ、本会及び本会会員に対して、その周知及び役員や管理職への女性の積極的な登用の推進を依頼されたものです。

つきましては、貴会会員に周知方よろしくお願いいたします。

※参考：第5次男女共同参画基本計画

～すべての女性が輝く令和の社会へ～（令和2年12月25日閣議決定）

[https://www.gender.go.jp/about\\_danjo/basic\\_plans/5th/index.html](https://www.gender.go.jp/about_danjo/basic_plans/5th/index.html)

※別添省略

3日獣発第46号  
令和3年5月12日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会  
会長 藏 内 勇 夫  
(公印及び契印の押印は省略)

## ゲノム編集飼料及び飼料添加物の飼料安全上の取扱要領及び留意事項について

このことについて、令和3年4月20日付け3消安第49号及び第55号をもって農林水産省消費・安全局長並びに農林水産省消費・安全局畜水産安全管理課長から別添のとおり通知がありました。

このたびの通知は、ゲノム編集飼料及び飼料添加物について、農業資材審議会飼料分科会及び同遺伝子組換え飼料部会において検討を行った結果、届出されたゲノム編集飼料の後代交配種の取扱いが見直されることとなり、ゲノム編集飼料及び飼料添加物の取扱要領及び留意事項の改正がなされた旨の通知を依頼されたものです。

つきましては、貴会関係者に周知方よろしくお願いいたします。

※別添省略

事務連絡  
令和3年5月20日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会  
副会長兼専務理事 境 政 人

## 令和2年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会開催代替企画 オンラインセミナー「時代のニーズに応じる獣医療を目指して」の動画 配信について

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、令和2年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会開催代替企画オンラインセミナー「時代のニーズに応じる獣医療を目指して」の開催におきましては、会員獣医師をはじめ多くの皆様方にご視聴いただき、広報等のご協力に対しまして厚く御礼申し上げます。

このたび、本会HP（トピックス欄）において本セミナーの動画配信を開始いたしましたのでご案内を差し上げますとともに、貴会会員獣医師等への広報等につき、ご協力方、よろしく願いいたします。

## 令和2年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会 オンラインセミナー「時代のニーズに応じる獣医療を目指して」 配信動画一覧

〔第1回目（開催日時：2月20日（土）13：00～16：15）〕

日本医師会・日本獣医師会・厚生労働省による連携シンポジウム

〔withコロナ下におけるペットとの付き合い方

－正しく知ろう、動物と人のコロナウイルス感染症－

- ・人の新型コロナウイルス感染症の最前線

松本哲哉（国際医療福祉大学医学部感染症学講座 主任教授）

- ・ペットと暮らす一人とペットのコロナ対策－

### ①東京都獣医師会の取組み

中川清志（公益社団法人東京都獣医師会 副会長）

### ②（準備中）陽性者の飼育動物のケア－企業の取組－

河本光祐（アニコム先進医療研究所株式会社 代表取締役社長）

〔第2回目（開催日時：2月27日（土）13：00～17：15）〕

日本産業動物獣医学会企画オンラインセミナー

シンポジウム「わが国におけるCSF（豚熱）対策の現状と問題点」

- ・豚熱をめぐる情勢と今後の対応

金子明誉（農林水産省消費・安全局動物衛生課 家畜衛生専門官）

- ・岐阜県における豚熱対策の取組みについて

～野生いのしし対策の現状と今後の対応～

田村康則（岐阜県農政部家畜伝染病対策課 野生いのしし対策室長）

- ・現場からみた豚熱を考える

伊藤 貢（有限会社あかばね動物クリニック 取締役）

- ・豚熱の最近の感染事例と野生イノシシの感染状況

山本健久（農研機構動物衛生研究部門ウイルス・疫学研究領域 疫学ユニット長）

〔第3回目（開催日時：3月6日（土）13：00～16：00）〕

日本獣医師会・日本野生動物医学会合同企画オンラインセミナー

「保全医学の視点と野生動物における感染症の現状」

共催：日本野生動物医学会

コーディネーター：

森光由樹（兵庫県立大学自然・環境科学研究所准教授）

鈴木正嗣（岐阜大学応用生物科学部教授）

- ・（準備中）新型コロナから学ぶOne Healthの意義と課題

五箇公一（国立環境研究所生物・生態系環境研究センター 生態リスク評価・対策研究室室長）

- ・豚熱（CSF）イノシシの発生状況と課題

蒔田公平（酪農学園大学獣医疫学ユニット 教授）

- ・野鳥における高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）発生の現状

山口剛士（鳥取大学農学部附属鳥由来人獣共通感染症疫学研究センター 教授）

〔第4回目（開催日時：3月13日（土）13：00～16：00）〕

日本小動物獣医学会企画オンラインセミナー

教育講演「犬猫における消化器の超音波検査～消化管を中心に～」

横山 望（北海道大学大学院獣医学研究院附属動物病院 特任助教）

教育講演「犬猫における消化器のX線検査」

新坊弦也（北海道大学大学院獣医学研究院附属動物病院 特任助教）

〔第5回目（開催日時：3月20日（土）13：00～15：30）〕

日本獣医公衆衛生学会企画オンラインセミナー

セミナー「新型コロナウイルス感染症流行下における獣医公衆衛生の役割」

- ・新型コロナウイルス感染症に関して獣医師が果たす役割

梅田浩史（厚生労働省健康局結核感染症課 感染症情報管理官）

- ・2020年（コロナ禍）の東京都内における食中毒発生状況

赤瀬 悟（東京都健康安全研究センター微生物部 主任研究員）

教育講演「世界と我が国の結核の現状」

鈴木定彦（北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター センター長）

〔第6回目（開催日時：4月3日（土）13：00～14：45）〕

日本獣医師会企画改正法令オンラインセミナー

「1年後に迫った愛玩動物看護師法の施行に向けて、今、知っておいていただきたいこと」

- ・1年後に迫った愛玩動物看護師法の施行に向けて、今、知っておいていただきたいこと

中元哲也（（前）農林水産省消費・安全局畜水産安全管理課 課長補佐）

小高大輔（環境省自然環境局総務課 課長補佐）

- ・愛玩動物看護師法～診療補助業務の範囲と獣医師・獣医師会における今後の取組についての検討

境 政人（公益社団法人日本獣医師会 副会長兼専務理事）

# 最近の豚熱の発生状況

## 豚熱の防疫措置対応（概要）

令和3年5月11日18時現在

68事例（防疫措置対象：109農場、4と畜場、240,330頭 （既にと畜されていた頭数を除く））		防疫対応状況			
発生場所	発生日	飼養頭数※（種別） ※患者確定時との殺対象頭数	措置完了日（○日付）		28日目
			開始	完了	
60 豚肥育農場 （山形県鶴岡市）	2020年 12月25日	1,250頭（精査中）	12月25日 18時00分	12月29日 17時40分	17日目 搬出制限区域 解除
61 豚一貫農場 （三重県伊賀市）	2020年 12月29日	7,026頭（精査中）	12月29日 18時00分	1月7日 16時00分	1月16日0時解除 ワクチン接種地域であるため、制限区域 は設定しない
62 豚一貫農場 （和歌山県かつらぎ町）	2021年 1月26日	267頭（精査中）	1月26日 20時20分	1月29日 20時00分	ワクチン接種地域であるため、制限区域 は設定しない
63 豚一貫農場 （奈良県奈良市）	2021年 3月31日	1089頭（精査中）	3月31日 2時00分	4月3日 18時00分	ワクチン接種地域であるため、制限区域 は設定しない
64 豚一貫農場（1戸1農場）(㊟) （群馬県前橋市）	2021年 4月2日	8588頭（精査中）	4月2日 19時00分	4月16日 15時45分	ワクチン接種地域であるため、制限区域 は設定しない
	関連農場	1202頭（精査中）	4月2日 4月2日 19時00分	4月16日 15時45分	ワクチン接種地域であるため、制限区域 は設定しない
65 豚一貫農場 （三重県津市）	2021年 4月14日	約10,000頭（精査中）	4月14日 22時00分	4月23日 16時00分	ワクチン接種地域であるため、制限区域 は設定しない
66 豚繁殖農場 （栃木県那須塩原市）	2021年 4月17日	約6,000頭（精査中）	4月17日 18時00分		ワクチン接種地域であるため、制限区域 は設定しない
	豚肥育農場（1戸1農場）(㊟) （栃木県那須塩原市）	約9,000頭（精査中）	4月17日 18時00分		ワクチン接種地域であるため、制限区域 は設定しない
67 豚一貫農場 （栃木県那須塩原市）	2021年 4月17日	約22,000頭（精査中）	4月17日 18時00分		ワクチン接種地域であるため、制限区域 は設定しない
68 豚一貫農場 （山梨県中央市）	2021年 5月11日	約2523頭（精査中）	5月11日 20時00分		ワクチン接種地域であるため、制限区域 は設定しない

農林水産省ホームページ <https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/csf/attach/pdf/domestic-234.pdf>

## 令和3年度埼玉県獣医師会学術広報版

(令和3年5月20日現在)

年 月 日	産 業 動 物	小 動 物	公 衆 衛 生
4月			
5月			
6月			
7月			
8月			
9月12日(日)	令和3年度 関東・東京合同地区獣医師大会(栃木)獣医学術関東・東京合同地区学会 (宇都宮市 栃木県総合文化センター)		
10月			
11月			
12月	農林支部 令和3年度埼玉県家畜保健 衛生業績発表会		
令和4年 1月21日(金) ~23日(日)	令和3年度 日本獣医師会獣医学術学会年次大会(兵庫) (神戸国際会議場・展示場)		
2月			衛生支部 健康福祉研究発表会 食肉衛生技術研修会
3月			

## 事務局メモ

ホームページ会員専用ページ 入室は URL <http://www.saitama-vma.org/>  
ID：SVMA（半角・大文字） パスワード：MITSUO（半角・大文字）

- |            |   |  |
|------------|---|--|
| 4月18日      | 第1回関東・東京合同地区獣医師会理事<br>事会（栃木県宇都宮市 ホテルマイ<br>テイズ宇都宮） | 令和4年<br>1月21日～23日 令和3年度日本獣医師会学会年<br>次大会（神戸市 神戸国際会議場）   |
| 4月28日      | 監査会（さいたま市 埼玉県農業共済<br>会館）                          | 2月27日 第3回関東・東京合同地区獣医師会理<br>事会（栃木県宇都宮市 ホテルマイ<br>テイズ宇都宮） |
| 5月20日      | 埼玉県畜産会第1回理事会（熊谷市<br>ホテルハリテイズ） 書面協議                |  |
| 6月1日       | 埼玉県畜産会第66回通常総会（熊谷<br>市ホテルハリテイズ）                   |  |
| 6月3日       | 埼玉県獣医師会第73回定時総会（さ<br>いたま市 清水園）                    |  |
| 6月23日      | 日本獣医師会第78回通常総会（東京<br>都 明治記念館）                     |  |
| 7月11日      | 第2回関東・東京合同地区獣医師会理<br>事会（栃木県宇都宮市 ホテルマイ<br>テイズ宇都宮）  |  |
| 7月16日      | 全国獣医師会事務事業推進会議（東京<br>都 都市センターホテル）                 |  |
| 9月12日      | 関東・東京合同地区獣医師大会・三学<br>会（栃木県宇都宮市 栃木県総合文化<br>センター）   |  |
| 11月20日、21日 | 食と農林業の祭典「ドリームフェ<br>スタ」（行田市 古代蓮の里）                 |  |

## 編集後記

風薫る5月を楽しむ間もなくコロナ！コロナ！でStay Homeを守っているうちに九州、四国、東海地方は約3週間も早く梅雨入りしてしまった。あまりにも早すぎはしないか？この現象は地球温暖化だけによるものだろうか？地震も頻繁に起きているし、大自然の営みの一つなのか？今後は一体どうなるのだろうか？

4月から開始した集合狂犬病予防注射も、コロナ禍の中でどうなるか心配していたが、渋谷狂犬病予防委員長の下、日々刻々と上がる各班からの様々な問題を各委員さんがメールで連絡を取り合い現場の先生方そして委員長との素早い連携のお陰で幾つかの事象も大きな問題にならずに、秩父班の5月21日、深谷班の5月23日を最後に終了となりました。参加していただいた先生方は大変お疲れ様でした。実施頭数は現在集計中で最終結果を待つこととなりますが、現時点では一昨年から2割5分程度減少しているようです。昨年集合注射を中止した市町村が多く、急遽病院注射に変わった事や、飼い主の皆さんがコロナ渦での集合注射への不安もあったと思われませんが、緊急時には仕方ありません。まずは集合注射、病院注射どちらであっても接種率を上げて、集団免疫をつくる事が我々の役目です。

古い話ですが、狂犬病予防注射廃止論が出た時に日本獣医師会の故杉山会長が靴底を減らして霞が関を陳情して廻られたと聞

いた事が有りますし、近くは民主党政権の時に行政改革の中で狂犬病について質問され、その答弁で獣医師である自民党の山際大志朗議員が専門的に狂犬病の恐ろしさを詳細に説明していただいた事を踏まえ、先人の皆さんの努力により継続して狂犬病の感染が防がれている事を我々獣医師は肝に銘じて狂犬病の予防注射をして行かなければいけないと思います。

もう6月です、会員の皆様には前号会報や支部を通して6月3日（木）にさいたま市大宮区の「清水園」に於いて公益社団法人埼玉県獣医師会第73回定時総会並びに埼玉県獣医師連盟総会開催の案内が届いているかと思えます。今年も新型コロナウイルス感染拡大防止を目的として、誠に残念な事ではありますが、昨年に引き続き役員等最少人数で、感染症対策を取った上で開催することとなりました。所属支部の支部長などの本会役員に議決権行使の権限を委任して頂きます様お願い致します。

我が県でもさいたま市、川口市、に続き川越市、所沢市、草加市、越谷市、蕨市、戸田市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、富士見市、ふじみ野市及び三芳町がまん延防止等重点措置の対象区域になってしまいました。今月いっぱいということですが、感染拡大が治まらなければまだまだ続くだろう。皆様には感染予防に十分注意していただき、まずはワクチン接種が終わるまで頑張りましょう。 (不動)



## 日本獣医師会・獣医師会活動指針

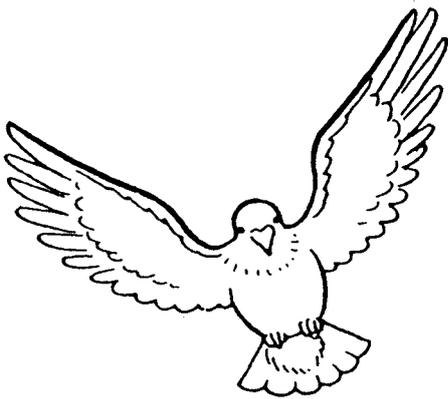
### － 動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。－

- 1 地球的課題としての食料・環境問題に対処する上で、生態系の保全とともに、感染症の防御、食料の安定供給などの課題解決に向け、「人と動物の健康は一つと捉え、これが地球環境の保全に、また、安全・安心な社会の実現につながる。」との考え方（One World-One Health）が提唱され、「人と動物が共存して生きる社会」を目指すことが求められている。
- 2 一方、動物が果たす役割は、食料供給源としてのほか、イヌやネコなどの家庭動物が「家族の一員・生活の伴侶」として国民生活に浸透するとともに、動物が人の医療・介護・福祉や学校教育分野に進出し、また、生物多様性保全における野生動物の存在など、その担うべき社会的役割は重みを増すとともに、一層多様化してきている。
- 3 他方、国民生活の安全・安心や社会・経済の発展を期する上で、食の安全性の確保や口蹄疫、トリインフルエンザ、狂犬病等に代表される新興・再興感染症に対する備えとともに、家庭動物の飼育が国民生活に普及する中で動物の福祉に配慮した適正飼育の推進が、更には、地球環境問題としての生物多様性の保全や野生鳥獣被害対策を推進する上での野生動物保護管理に対する関心が高まってきている。
- 4 我々、獣医師は、「日本獣医師会・獣医師倫理綱領－獣医師の誓い－95年宣言－」が規定する専門職職業倫理の理念の下で、動物に関する保健衛生の向上と獣医学術の振興・普及を図ること等を通じ、食の安全性の確保、感染症の防御、動物疾病の診断・治療、更には、野生動物保護管理や動物福祉の増進に寄与するとその責務を担っている。
- 5 獣医師会は、高度専門職業人としての獣医師が組織する公益団体として、獣医師及び獣医療に対する社会的要請を踏まえ、国民生活の安全保障、動物関連産業界の発展による社会経済の安定、更には、地球環境の保全に寄与することを目的に、「動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。」を活動の理念として、国民及び地域社会の理解と信頼の下で、獣医師会活動を推進する。

#### 【参 考】

「One World-One Health」とは、動物と人及びそれを取り巻く環境（生態系）は、相互につながっていると包括的に捉え、獣医療をはじめ関係する学術分野が「ひとつの健康」の概念を共有して課題解決に当たるべきとの考え。2004年に野生生物保全協会（WSC）が提唱した。また、国際獣疫事務局（OIE）は、2009年に「より安全な世界のための獣医学教育の新展開」に関する勧告において、動物の健康、人の健康は一つであり生態系の健全性の確保につながるとする新たな理念として「One World-One Health」を実行すべきである旨を提唱している。

彩の国



さいたま

